

## 火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

6月になり2022年も半分が終わろうとしています。

半年前の世間はコロナ禍で感染者数も増え、終わりの見えない日常生活でしたが、今となってみれば、コロナ終息も感じられるほど通常の日常が戻り始めているのを感じます。

歴史を振り返ってみたら、人類の生活を脅かす疫病は長くても3年という期間で終息を迎え、人の免疫がウイルスに勝ち風邪の一種になっていくのだと思います。

※とは言え、まだ油断はできない状況ではありますが・・・。

火の魂カンパニーとしても、コロナ終息に向け人財を採用し育成し続けた3年でもあるので、「とかの結城店」や7月にリニューアルオープンする「とかの石橋店」を軸に火の魂カンパニーの挑戦が始まっていきます。暑い季節になってきましたが、改めてみんなの力を合わせて、お客様に何度も来店してもらえるようにしていきましょう。

さて、今月の社長からの手紙は、社会人3ヶ月目の社員がいるので、改めて「社会人とは？」に書いていきたいと思う。私が入社前の内定者に学生と社会人の違いという事を何度も何度も話してきたが、社会人と学生の違いは「与えてもらう側」から「与える側に立つ」という事です。私もそうでしたが、若い時は与えられるものが当たり前と感じ、社会に出た時は何かと苦勞をしました。学年が上がれば勉強の内容が変わり、新たに学ぶ事を与えてもらい、毎日新しいことを一つ一つ丁寧に与えられてきた。だけど社会は目標を持って仕事に取り組む人もいれば、全体の研修で与えられたことだけを行う人だったり、目の前の自分のことで精一杯な人もいるのも事実です。

入社して個人差はあると思いますが、大切なことは、自分自身と向き合いながら「出来ないことが出来るようになること」「60分かかったことが50分で出来るようになること」自分自身で日々取り組むことが大切です。器用に直ぐできる人もいれば、なかなか出来るようにならない人も居ますが、新入社員は出来なくて当たり前ですから、焦らず自分自身が一つ一つできるようになることを、コツコツ続けていくことが大切です。

先輩社員の皆さんも、自分だけの力で育ったのではなく、陰ながらの上司や先輩の支えが沢山あったはずなので、部下の成長を信じて、出来る様になるまで何度も何度も寄り添い励まし支えて、部下の成長に貢献してください。学生から社会人になり、体がなれるまではやはり1年は掛かります。先輩後輩の絆や同期の絆を大切にして、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」社員全員で成長の絆を強めながら、力を合わせていきましょう。先輩は後輩に良い影響を与え、後輩は先輩に良い影響を与え、火の魂カンパニーとしては、関わる全ての人に良い影響を与える組織力の強い会社に成長していきます。最後に社会人とは？ 関わる人に良い影響を与える事であり、成長を通して自分の強みを見つけ出し、関わる人に「必要とされる人間になる」、私も今まで以上に社員に良い影響を与える人間になるために日々「成長」していきます。